

平成30年度(2018年度)豊能地区新規採用教職員の採用前セミナー I

採用前セミナー I

平成29年(2017年) 12月25日(月) 13:00～ 池田市民文化会館

「豊能地区における教職員の勤務に関する基礎知識」

講師：豊中市立第三中学校 藤井 雄一郎 主幹
能勢町立能勢小学校 米田 哲夫 主幹

昨年度に引き続き、豊能地区では、合格者を対象に採用前セミナー I を実施し、教職員として働く上で大切なことを盛り込んだ講義を行っています。

講師は、豊能地区の学校現場で働いている経験をいかし、具体例をあげながら新規採用予定者にとってわかりやすく話してくださいました。また、現在の教育の課題についても触れながら、「教職員の勤務」について、新規採用予定者のみなさんへ伝えていただきました。

当日は、「豊能地区における教職員の勤務に関する基礎知識」という冊子に基づいてお話がありました。この冊子は、学校現場に赴任後も繰り返し見て、確認することができるものとなっています。

当日は、合格者 145 人が参加し、熱心に講義に聞き入っていました。4月からの学校での勤務に是非役立ててほしいです。

【講義の主な内容】は以下のとおりです。

- 豊能地区の特色
- 社会人としておさえておきたい基本的なことから
- 公務員として理解しておくこと
- 学校教職員として理解しておくこと
- 「府費負担教職員」の勤務や接遇について知っておくこと
- 学校全体の業務と学年・学級などに関わる業務について
- 自分自身に関する事務について



【セミナーⅠの感想（参加者アンケートより抜粋）】

改めて豊能地区の教員になったのだと自覚しました。豊能地区のため、そこに暮らす子どもたちのためにがんばりたいと強く思いました。

教職員として自覚が芽生える有意義な研修になりました。常勤講師としてわかっていなかった部分もあり、明日からこの知識を活かしていきたいと思います。

この豊能地区で働くにあたって、基本的なことをていねいに教えていただけよかったです。大事なことが全てまとめて書かれている冊子は大変便利だと感じました。本日の冊子は大事に活用したいと思います。



社会人になることに抽象的な不安がありましたが、具体的なお話が聞けてがんばろうという気持ちが強くなりました。

教師になるにあたって、また社会人として大切にすべきことを学んだ。特に自分の身を削ってではなく、しっかりと身体を休めた上で、よい授業をすることが児童・生徒のためというお話は、本当にその通りだなと思った。





初めてのことで戸惑うことも多いと思うが、今日学んだ「余裕をもって」という言葉を胸に刻み、周りに迷惑をかけることのないよう迅速、丁寧を心がけていきたい。

教員になる上で、個人としてではなくチームとして動いていく大切さを改めて実感することができた。事務処理、電話対応など、子どもと接する以外の面で、不明な点も仕事をしていく中で多々出てくるとは思うが、報告、連絡、相談をしっかりと行うことで対応していきたいと思った。

教職員になるということは、社会人として必要なスキルを身につけ、また子どもたちや保護者の方、地域の方から見られているので、しっかり自覚をもってこれまで以上に自分自身の言動に注意していかねばならないと感じた。変化の大きくなる社会に出ていく子どもたちのニーズに応じて、教育の内容なども教員として考えていかねばならない。

新社会人ということで、様々な不安もありましたが、今回のセミナーで基本的なことからいねいに教えていただき、不安も軽くなりました。わからないことは放置せず、すぐに聞いて「チーム学校」を心がけて働いていこうと思います。

教職員として、社会人としてできなければならないことを改めてお話いただいたことでより一層、社会で働く自覚を持つことができました。あいさつや期限の厳守等を大切に、自分の役割を全うできるよう、4月から精一杯頑張っていきたいと思います。

